鎌倉市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例施行規則 (趣旨)

第1条 この規則は、鎌倉市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例(平成 28年10月条例第17号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定 めるものとする。

(保存建築物の登録の申請等)

- 第2条 条例第3条第1項の規定による申請をしようとする者は、対象建築物の名称及び敷地(保存活用計画において、対象建築物を移築することとする場合にあっては、移築後の敷地。第1号を除き、以下同じ。)の位置を記載した登録申請書(第1号様式)の正本及び副本に、それぞれ次に掲げる図書を添えて、市長に提出しなければならない。
 - (1) 当該申請の日現在の状況(次に掲げる場合にあっては、それぞれ次に定める状況)を表示した別表第1(1)の項及び(2)の項に掲げる図書
 - ア 対象建築物が既に解体されている場合 当該申請の日現在の対象建築 物を再現する敷地の状況及び解体される前の対象建築物の状況
 - イ 保存活用計画において、対象建築物を移築することとする場合(アの場合を除く。) 当該申請の日現在の対象建築物の存する敷地及び対象建築物の状況
 - (2) 当該建築物が対象建築物であることを証する書面
 - (3) 条例第3条第3項の同意を得たことを証する書面
- 2 前項の規定にかかわらず、市長は、同項第1号及び第2号に掲げる図書で 添付させる必要がないと認めるものを省略させることができる。
- 3 市長は、条例第3条第1項の規定による申請を受けた場合において、当該申請に係る対象建築物について条例第4条第1項の規定による登録をしたときは、登録通知書(第2号様式)に登録申請書の副本及びその添付図書を添えて、申請者に交付するものとする。
- 4 市長は、条例第3条第1項の規定による申請を受けた場合において、当該申請に係る対象建築物について条例第4条第1項の規定による登録をしないときは、登録しない旨の通知書(第3号様式)に登録申請書の副本及びその添付図書を添えて、申請者に交付するものとする。

(保存活用計画)

第3条 条例第3条第2項の保存活用計画は、保存活用計画書(第4号様式) に次に掲げる図書を添付したものとする。

- (1) 別表第1(2)の項から(4)の項までに掲げる図書
- (2) 保存活用計画概要書(第5号様式)
- (3) その他市長が必要と認める図書
- 2 前項の規定にかかわらず、市長は、同項第1号及び第2号に掲げる図書で 添付させる必要がないと認めるものを省略させることができる。

(登録の縦覧事項)

第4条 条例第4条第4項の規則で定める事項は、保存活用計画概要書に記載すべき事項とする。

(変更登録の申請等)

- 第5条 条例第5条第1項の規定による申請をしようとする者は、変更登録申請書(第6号様式)の正本及び副本に、それぞれ次に掲げる図書を添えて、市長に提出しなければならない。
 - (1) 変更後の保存活用計画書
 - (2) 別表第1に掲げる図書(変更に係る部分に限る。)
 - (3) 条例第5条第2項において準用する条例第3条第3項の同意を得たことを証する書面
 - (4) 変更後の保存活用計画概要書
 - (5) その他市長が必要と認める図書
- 2 前項の規定にかかわらず、市長は、同項第1号から第4号までに掲げる図書で添付させる必要がないと認めるものを省略させることができる。
- 3 市長は、条例第5条第1項の規定による申請を受けた場合において、当該申請に係る保存建築物について同条第3項の変更登録をしたときは、登録通知書に変更登録申請書の副本及びその添付図書を添えて、申請者に交付するものとする。
- 4 市長は、条例第5条第1項の規定による申請を受けた場合において、当該申請に係る保存建築物について同条第3項の変更登録をしないときは、その旨及びその理由を記載した文書に変更登録申請書の副本及びその添付図書を添えて、申請者に交付するものとする。

(変更登録を要しない軽微な変更)

- 第6条 条例第5条第1項の規則で定める軽微な変更は、次に掲げるものとする。
 - (1) 保存建築物の名称の変更
 - (2) 保存建築物の所有者の変更

- (3) 保存建築物の所有者の氏名若しくは名称又は住所の変更
- (4) 設計者の変更
- (5) 保存対象敷地の地名及び地番の変更(保存対象敷地の境界の変更を伴わない場合に限る。)
- (6) その他市長が当該保存建築物の保存を図る上で特に支障がないと認める変更

(現状変更の許可の申請等)

- 第7条 条例第7条第1項の許可を受けようとする者は、現状変更許可申請書 (第7号様式)の正本及び副本に、それぞれ別表第1(2)の項及び(3)の項に掲 げる図書その他市長が必要と認める図書を添えて、市長に提出しなければな らない。
- 2 前項の規定にかかわらず、市長は、別表第 1 (2)の項及び(3)の項に掲げる図書で添付させる必要がないと認めるものを省略させることができる。
- 3 市長は、条例第7条第1項の許可をしたときは、現状変更許可通知書(第 8号様式)に、現状変更許可申請書の副本及びその添付図書を添えて、申請 者に交付するものとする。
- 4 市長は、条例第7条第1項の許可をしないときは、許可しない旨の通知書 (第9号様式)に、現状変更許可申請書の副本及びその添付図書を添えて、 申請者に交付するものとする。

(建築主等の変更の届出)

- 第8条 現状変更許可通知書の交付を受けた者は、条例第7条第1項の許可に 係る工事が完了するまでに次の各号のいずれかに該当する事由が生じた場合 は、建築主等の変更届(第10号様式)の正本及び副本に当該許可に係る現状 変更許可通知書の写しを添えて、市長に届け出なければならない。
 - (1) 建築主を変更しようとするとき。
 - (2) 工事監理者又は工事施工者を変更しようとするとき。
 - (3) 建築主、工事監理者又は工事施工者の住所又は氏名の変更があったとき。 (許可を要しない行為)
- 第9条 条例第7条第1項ただし書の規則で定める行為は、次に掲げるものと する。
 - (1) 保存活用計画書に記載された維持管理に関する事項に該当する行為
 - (2) 法令又はこれに基づく処分による義務の履行として行う行為
 - (3) その他市長が当該保存建築物の保存を図る上で特に支障がないと認める

行為

(申請の取下げの届出)

第10条 条例第3条第1項の規定による申請、条例第5条第1項の規定による申請又は条例第7条第1項の許可の申請をした者が、それぞれ登録通知書又は現状変更許可通知書の交付を受ける前に当該申請を取り下げようとするときは、登録等申請取下げ届(第11号様式)の正本及び副本により市長に届け出なければならない。

(完了検査の申請等)

- 第11条 条例第8条第1項の規定による申請をしようとする者は、完了検査申請書(第12号様式)を市長に提出しなければならない。
- 2 条例第8条第5項の規定による通知は、完了検査通知書(第13号様式)に より行うものとする。
- 3 条例第8条第2項ただし書の規則で定めるやむを得ない理由は、災害その 他の事由とする。

(所有者等の変更の届出)

- 第12条 条例第9条第3項、第5項及び第6項の規定による届出は、所有者等の変更等の届(第14号様式)により行うものとする。
- 2 条例第9条第6項の規定による届出は、所有者等の変更等の届に当該保存 建築物の所有者が変更したことを証する書面を添えて行うものとする。

(維持管理の報告)

第13条 条例第10条第1項の規定による報告は、維持管理報告書(第15号様式) に別表第2に掲げる図書を添えて行うものとする。

(身分証明書)

第14条 条例第17条第2項に規定する身分を示す証明書は、身分証明書(第16号様式)とする。

付 則

この規則は、公布の日から施行する。

別表第1 (第2条、第3条、第5条及び第7条)

区分	図書	明示すべき事項
(1)	付近見取図	敷地の位置、方位、道路及び目標となる地物
	敷地面積求積図	敷地面積の求積に必要な敷地の各部分の寸法及び算式
(2)	配置図	縮尺、方位、敷地境界線、敷地内における建築物の位置及び申請に係る建築物と他の建築物との別、土地の高低、敷地の接する道路の位置、幅員及び種類、下水管、下水溝又はためますその他これらに類する施設の位置及び排水経路又は処理経路
	各階平面図	縮尺、方位、間取、各室の用途、壁及び筋かいの位置及び種類、通し柱、開口部及び防火戸の位置
	建築面積求積図	建築面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式
	床面積求積図	床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式
	2 面以上の立面図	縮尺、開口部の位置並びに外壁及び軒裏の構造及び仕上材料
	2面以上の断面図	縮尺、地盤面、各階の床及び天井(天井がない場合にあっては、屋根)の高さ、軒、ひさし及びけらばの出並びに建築物の各部分の高さ
(3)	基礎伏図、各階床伏図、小屋伏図 図 2面以上の軸組図	縮尺、構造耐力上主要な部分の材料の種別及び寸法
	構造詳細図	縮尺並びに構造耐力上主要な部分(接合部を含む。)、屋根 ふき材、内装材、外装材、帳壁その他これらに類する建築物 の部分及び広告塔、装飾塔その他建築物の屋外に取り付ける ものの取付部分の構造方法
	使用構造材料一覧表	構造耐力上主要な部分である部材に使用される全ての材料 の種別及び使用部位

	事業計画書	改修計画、各室利用計画、建築基準法に不適合な箇所・項目
	工事工程表	
	安全性の評価のための調査結果報告書	構造耐力上主要な部分に使用される部材の劣化及び損傷の 状況
		屋根、軒裏、外壁、開口部の劣化及び損傷の状況、室内の仕上げの材料の種類等
	地震に対する安全性の評価説明書	構造耐力上主要な部分についての地震に対する安全性の評 価結果
		構造耐力上主要な部分についての地震に対する安全性の評 価結果の適切性に関する検討結果
	火災等に対する安全性の評価 説明書	建築物の内部及び外部で生じる火災に対する安全性の評価 結果
		火災等に対する安全性の評価結果の適切性に関する検討結 果
(4)	地震又は火災に対する安全性 の向上を目的とした改修計画 書	地震に対する安全性の向上を目的とした建築物の改修工事 等の内容
		火災等に対する安全性の向上を目的とした建築物の改修工 事等の内容
	維持管理に関する事項を記載した書面	建築物の敷地、構造及び建築設備を適切な状態に維持するために必要な措置

別表第2 (第13条)

図書	明示すべき事項
配置図	縮尺、方位、敷地境界線、敷地内における建築物の位置、保 存建築物と他の建築物との別及び敷地の状況について安全上 支障がないことを確認するために行った調査の結果
各階平面図	縮尺、方位、間取並びに建築物の構造及び建築設備の状況について安全上支障がないことを確認するために行った調査の結果
立面図	縮尺、外壁及び開口部の位置並びに建築物の構造及び建築設備の状況について安全上支障がないことを確認するために行った調査の結果
断面図	縮尺、各階の床及び天井(天井がない場合にあっては、屋根) の高さ、軒、ひさし及びけらばの出、建築物の各部分の高さ 並びに建築物の構造及び建築設備の状況について安全上支障 がないことを確認するために行った調査の結果
屋根伏図	縮尺、方位並びに屋根ふき材及び屋根の状況
カラー写真	建築物の構造及び建築設備の状況並びに写真を撮影した日付

登録申請書

(宛先) 鎌倉市長

年 月 日

住所申請者氏名

印

電 話

(法人にあっては、名称及び代表 者名並びに事務所の所在地)

鎌倉市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例第3条第1項の規定により、次の建築物を保存建築物として登録することを申請します。

1 対象建築物の名称								
2 敷地の地名地番	鎌倉市							
	住所							
3 敷 地 の 所 有 権 を	氏名 電話							
有する者の住所氏名	住所							
	氏名 電話							
	住所							
4 敷 地 の 借 地 権 を	氏名電話							
有する者の住所氏名	住所							
	氏名 電話							
※ 受 付 欄	※消防関係意見聴取欄 ※登録番号欄							
	年 月 日							
	第							
	係員印							

- 1 ※印の欄は、記入しないでください。
- 2 3 欄又は 4 欄に全員を記入することができないときは、同一様式によって別紙に記入してください。

登録通知書

鎌倉市指令 第 号

年 月 日

様

鎌倉市長印

下記による 登録申請書・変更登録申請書 及び添付図書に記載の計画について、 鎌倉市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例 第4条第1項の規定による登 録・第5条第3項の変更登録 をしたので、同条例第4条第3項(第5条第5項において準用する場合も含む。)の規定により、通知します。

記

- 1 申請年月日 年 月 日
- 2 敷地の地名地番
- 3 建築物又はその部分の概要

(注意) この通知書は、大切に保存しておいてください。

登録しない旨の通知書

鎌倉市指令	第		号
	年	月	日

様

鎌倉市長印

別添の登録申請書及び添付図書に記載の計画については、下記の理由により鎌倉市 歴史的建築物の保存及び活用に関する条例第4条第1項の規定による登録をしないこ ととしましたので、通知します。

(理由)

教示文

保存活用計画書

1	建築物	の名	称											
				住所										
2	建築物の	所 有	ī 者	氏名	长名									
								電	話					
3 #	3 増築等の工事の種別			□増築	□改築	□移転	□移築		□用途変	変更	□修繕	□模様巷	秦	
	地 名	地	番	鎌倉市										
	住 居	表	示	鎌倉市										
4	用 途	地	域											
敷地	防火	地	域	□防火地	也域 □準	善 防火地 ⁵	域 □指	定力	なし					
の概	その他の	地域均	地区											
要	指定建	~ V	、率		% 指 定								%	
	敷 地	面	積			m²	建築物	勿(の数				棟	
	前 面	道	路	幅員	m	接道:	長 1	m						
	主 要	用	途											
	最高の	の高	さ			m	最高の軸	手の	高さ				m	
	建築	面	積			m²	建ペ	V	\ 率				%	
5 建	延べ	面	積			m²	容和	責	率				%	
築物	階		別		階		ß	皆			階	合	計	
Ø	rh ≑≢) ≂	用	途											
概要	申請に 係る建 築物	構	造											
	AC 174	延べ	面積		m²		m²				m²		m²	
	申請に 係る建	用	途											
	築物	構	造											

		延べ面積	m²	m²		m²	m²	
	7 11.	用途						
	その他 の 建築物	構造						
	建杂初	延べ面積	m²	m²		m²	m²	
	その他	用途						
	の建築物	構造						
	~	延べ面積	m²	m²		m²	m²	
6 ±	曽築等の	工事の内容						
	安全性 こ関する	構造上の安 全性						
	事項	防火上の安 全性						
	維持管 里に関す	調査の 項目・概要						
	5事項	報告の 方法・時期						
,	敷地の周辺 保全を図る 必要と認る							
			住所					
				,				
			氏名		資格			
10	設 計	者				建築士		
			電話			登録第	号	
			建築士事務所名		登録			
						建築士事務所		
供求			電話			知事登録	录第 号	

- 1 該当する□には、レ印を記入してください。
- 2 2欄に全員を記入することができないときは、同一様式によって別紙に記入してください。
- 3 6 欄、7 欄、8 欄及び 9 欄はできるだけ具体的に記入してください。この場合において、これらの欄に記入することができないときは、別紙に記入してください。
- 4 「増築等」とは、建築物の増築、改築、移転若しくは用途の変更又は修繕若しくは模様替えをいいます。

保存活用計画概要書

(第1面)

1	建築物	の名称								
0	74 × 14 0	· 示 左 孝	住所							
2	全) 川 有 有	氏名							
	/D +		住所							
3	保 仔 官 埋	計 貢 仕 者	氏名							
4 ±	曽築等の工	事の種別	□増築 [□改築	□移転	□移築	□用途変	変更 □修繕	□模様档	Ė
	地 名	地 番	鎌倉市							
	住 居	表示	鎌倉市							
5 敷	用 途	地 域								
地の	防火	地 域	□防火地均	域 □準	售防火地均	或 □指定	三なし			
概要	その他の	地域地区								
	指定建	ぺい率		(% 指定容		ア 積 率			%
	敷 地	面 積		:	m²	建築物	の数			棟
	建築物	の番号				1				
	建築物	別用途								
6		最高高さ		m		m		m		m
6 建		階 数		谐 谐	地上地下	階 階	地上地下		地上地下	階 階
築物		構造								
の概		建築物別		m²		m²		m²		m²
要	建築面積	合 計				m²	建	ペル率		%
		建築物別								
	延べ面積	合 計	m²	(容積対	l 象	m²)	容	積 率		%
※ 图	 登録の年月日	 及び番号		年	月	目	 第	号		
	で再発録の任	月日及び番		 年	———— 月	目	第			

(第2面) 許可の履歴

1	許可年月日及び	潘号	年	月 I	3 3	第	뭉	
2	建築主	住所 氏名						
		住所						
3	3 設 計 者	氏名 電話			-	資格 建築士 大臣登録第		号
		建築士事務所名 電話			-	登録 建築士事 知事	事務所 事登録第	号
		住所						
4	工事監理者	氏名電話			-	資格 建築士 大臣登録第		号
		建築士事務所名電話			-	登録 建築士事 知事	事務所 事登録第	믓
		住所			·			
5	工事施工者	氏名 電話						
		□国土交通大臣	□神奈川	県知事	許可	第	号	

- 1 該当する□には、レ印を記入してください。2 建築物の番号欄は、敷地内の建築物ごとに通し番号を記入してください。

付近	見取	凶
----	----	---

配置図

- 1 付近見取図には、方位、道路及び目標となる地物を明示してください。 2 配置図には、縮尺、方位、敷地境界線、敷地内における建築物の位置、申請に係る建築物と他の建 築物との別並びに敷地の接する道路の位置及び幅員を明示してください。

変更登録申請書

(宛先) 鎌 倉 市 長				申請者	住氏電	所 名	年	月	印
鎌倉市歴史的建築物の保存及 る変更登録を申請します。	及び活用に関	関する条件	列第 5 条	第1項の	(法 ₎ 者:	人にあっては 名並びに事務	所の別	听在地	4)
1 保存建築物の名称									
2 登録年月日及び番号		年	月	日	第	号			
3 敷地の地名地番	鎌倉市								
	住所								
4 敷 地 の 所 有 権 を 有 す る 者 の 住 所 氏 名	氏名			Í	電話				
	住所								
	氏名			Í	電話				
	住所								
5 敷 地 の 借 地 権 を	氏名			i	電話				
有する者の住所氏名	住所								
	氏名			Í	電話				
※ 受 付 欄	※ 消	的関係:	意見聴耳	反欄		※ 登 録	番号	· 欄	
						年	F	₹	目
					第				号
					係員	員印			

- 1 ※印の欄は、記入しないでください。2 4欄又は5欄に全員を記入することができないときは、同一様式によって別紙に記入してくださ い。

現状変更許可申請書 (第1面)

(宛先) 鎌 倉 市 長								年	月	目
					申請	情者 氏 電	所 名 話 人にあっ	ては、名	称及びは	印代表
								事務所の		
鎌倉市歴史的建築 請します。	物の保存及	び活用に	関する条例	列第 7 多	条第 1 5	質の規定	Eにより、	現状変更	夏の許可	を申
1 保存建築物	の名称									
2 登録年月日及	び番号		年	月	F	3 第	Ē	号		
3 保 存 建 築 物 の	所 有 者	住所								
住所		氏名				電	話			
	住所						нн			
4 設 計 者	氏名					資格				
		電話				大臣	建築士 五登録第		号	÷
	建築士事	務所名				登録				
		電話					建築士和	事務所 事登録第	号	· ·
	住所									
	氏名					資格				
5 工 事 監 理 者		電話				大臣	建築士 豆登録第		号	÷
	建築士事	務所名				登録				
		電話					建築士和	事務所 事登録第	号	÷
	住所				J					
6 工事施工者	氏名	電話								
	□国土交	通大臣	□神奈川県	東知事	許可	ij	第	号		
※ 受 付 ホ	関		※ 備	考 札	Ħ		*	許可番	: 号 欄	
								年	月	日
							第			号
							係員印			

(第2面)

7	敷地の	地名	地 番	鎌倉市							
8	敷 地	且 面	積	m²							
9	現状変更	の行為の	り種類	□増築	□改築	□移転	□移築	□用途変	更 □修約	善□模様替	
	地名	地	番								
	最 高	の高	i t		m		最高の	軒の高さ		m	
10	建築	面	積		mĺ	3	建ペ	い率		%	
敷	延べ	面	積		mĺ	3	容	積 率		%	
地	構		造						•		
の概	階		別		階		階		階	合	計
要		申請	部分		m²		m²		m²		
	延べ面積	申請り部分	以外の		m²		m²		m²		m²
			+		m²		m²		m²		m²
11	工事着	手予定年	月日		年	月 月					
12	工事完	 了 予 定 年	月日		年	月 日					

- 1 該当する□には、レ印を記入してください。
- 2 ※印の欄は、記入しないでください。
- 3 3欄に全員を記入することができないときは、同一様式によって別紙に記入してください。
- 4 5欄及び6欄は、工事監理者及び工事施工者が未定である場合は、記入する必要はありません。

現状変更許可诵知書

			扒 发 史	計り通知者	i i			
					鎌倉市指令			号
						年	月	日
	様							
					鎌倉市長		印	
1	申請年月日	年	月	日				
2	敷地の地名地番							
3	建築物又はその部	分の概要						
. =	ᄗᇉᆚᇫᅺᆔᆓᆓᆉ	—	コ ~ ほうご		1th 03 T)	∧ ¥	EE	
	記による現状変更許 築物の保存及び活用							
	条件を付して許可し							
			記	Ţ				
			教示	:文				

(注意) この通知書は、大切に保存しておいてください。

許可しない旨の通知書

鎌倉市指令	第		号
	年	月	日

様

鎌倉市長即

別添の現状変更許可申請書及び添付図書に記載の計画については、下記の理由により鎌倉市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例第7条第1項の規定による許可をしないこととしましたので、通知します。

(理由)

教示文

建築主等の変更届

(宛先) 鎌 倉 市 長			申請者	住 所 氏 名 電 話 (法人にあって 者名並びに		
鎌倉市歴史的建築物の保存及 □建築主 □工事監理者 の 変更 □工事施工者	てび活用に関する		∥第8条の	の規定により、		
1 保存建築物の名称						
2 敷地の地名地番	鎌倉市					
3 登録年月日及び番号	年	月	B	第	号	
4 許可年月日及び番号	年	月	日	第	号	
5 変 更 前 変						
更 内 変 更 後						
6 変 更 理 由						
※ 受 付 欄		*	• 特 記	事項		

- 1 該当する□には、レ印を記入してください。
- 2 ※印の欄は、記入しないでください。

登録等申請取下げ届

(宛先) 鎌 倉 市 長	年 月 日
	申請者 氏 名 印 電 話 (法人にあっては、名称及び代表 者名並びに事務所の所在地)
□登録 先に行った □変更登録 の □許可 する施行規則第 10 条の規定に	申請を取り下げたいので、鎌倉市歴史的建築物の保存及び活用に関
1 登録又は許可申請受付 年月日及び受付番号	
	住所
2 申請者住所氏名	氏名 電話
3 敷地の地名地番	鎌倉市
4 建築物等の用途	
5 取 下 げ 理 由	
※ 受 付 欄	※ 特 記 事 項

- 1 該当する□には、レ印を記入してください。
- 2 ※印の欄は、記入しないでください。

完了検査申請書

(宛先) 鎌 倉 市 長 鎌倉市歴史的建 項の許可に係る工	築物の保存				申請和	電 (法 <i>)</i> 者名	名 話 、にあっては、 G並びに事務所の	の所在地)
1 敷地の地。	名 地 番	鎌倉市							
2 許可年月日及	び番号		年	月	目	第	号		
3 工 事 完	了 目		年	月	目				
	住所								
4 設計 者	氏名	電話			沙島	資格 建 大臣登	· 集 · 全 · 全 · 全 · 会 · 会 · 。 · 。 · 。 · 。 · 。 · 。 · 。 · 。	뭉	
	建築士事	務所名			至	登録			
		電話				建	整士事務所 知事登録第	号	
	住所								
5 工事監理者	氏名	電話			Ž	資格 建 大臣登	* * * * * * *	号	
	建築士事	務所名			耋	登録			
		電話				建	整士事務所 知事登録第	号	
	住所				•				
6 工事施工者	氏名	電話							
	□国土交	通大臣]神奈川県	:知事	許可		第 号		
※ 受 付	欄			*	特言	記事	項		

完了検査通知書

 鎌
 第
 号

 年
 月
 日

様

鎌倉市長印

下記に係る工事は、鎌倉市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例第8条第4項の規定による検査の結果、同条例第7条第1項の許可の内容に適合していることを通知します。

記

- 1 許可年月日及び番号 年 月 日 第 号
- 2 敷地の地名地番
- 3 建築物又はその部分の概要
- 4 検査年月日 年 月 日

(注意) この通知書は、大切に保存しておいてください。

所有者等の変更等の届

(宛	先)鎌倉市長					名			子 印 表
<u>3</u>	鎌倉市歴史的建	築物の保存及	び活用に関する条例第	9条	□第3項 □第5項 □第6項)規定により届	け出ま	きす。	
1 保	存建築物	の名称							
2 登	: 録 年 月 日 /	及び番号	年	月	日 第	号			
3 勇	敷地の地	名 地 番	鎌倉市						
4	変更年	月 日	年	月	日				
5	変更	事 項	□所有者 □保存管理責任者	の	□変更 □選任 □解任 □氏名若し	くは名称又は	住所の	変更	
6 変 更	変更	前							
人 内 容	変更	後							
7	変 更	理 由							
	※ 受 付	欄		*	特 記 事	項			

- 1 該当する□には、レ印を記入してください。
- 2 ※印の欄は、記入しないでください。
- 3 7欄は、できるだけ具体的に記入してください。

維持管理報告書

(第1面)

(宛:	先)鎌 倉 市 長	î.				申請者	住 所 氏 名 電 話 (法人にな 者名並で				
Š	鎌倉市歴史的建	築物の倪	 保存及	び活用に関する条	:例第 10	条第1項の				,,,,,,,,,	,
1 侈	子 建 築 物	の名	称								
2 登	· 録 年 月 日 <i>]</i>	及び番	: 号	年	月	目	第		号		
3 5	敷 地 の 地	名 地	番	鎌倉市							
4	敷地	面	積	m²							
	用		途			構	造				
5 保	最高の	高	さ	m		最高の	軒の高さ		m		
5保存建築物の	建築	面	積	m²		建ペ	い率		%		
物の	延べ	面	積	m²		容	積 率		%		
概要	階		別	階		階		階	合		計
	延べ	面	積	m²		m²		m²			m²
				住所							
				氏名			氏名				
6	調 査 を 行	った	者	電話				電	話		
				建築士事務所名			建築士事	務所	名		
				電話				電	話		
7	調查		月	年	月 F	I					
	※ 受 付	欄				※ 特 言	記事項				

	区分	調査項目	結	果	指摘の概要
	敷地	地盤	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
		危 難 通 路	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
		基 礎	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
		土 台	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
	建築物の外部	外 壁	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
		軒 裏	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
		開 口 部	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
	E #1	屋根ふき材	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
	屋根	屋 根 下 地	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
8 調		柱	□指摘なし□□]指摘あり □対象外	
查		梁	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
<i>O</i>	建築物の内部	壁	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
結果	是采物沙門品	床	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
		天 井	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
		継手・仕口	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
		給 水 設 備	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
	建築設備	排 水 設 備	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
		電気設備	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
		消火設備	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
	避難経路	階段	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
	之上 大正 作工 P口	廊 下	□指摘なし □]指摘あり □対象外	
			□指摘なし □]指摘あり □対象外	
			□指摘なし □]指摘あり □対象外	

- 1 該当する□には、レ印を記入してください。
- 2 ※印の欄は、記入しないでください。

身分証明書

第号

身分証明書

所職名名

昭和・平成 年 月 日生

上記の者は、鎌倉市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例第17条第1項に規定する立入調査、立入検査又は質問をする職員であることを証明する。

年月日発行年月日まで有効

鎌倉市長